平成25年10月1日発行（毎月1回1日発行）

JACIC news 2013 10月号/No.293

JACIC 一般財団法人 日本建設情報総合センター

ニュースと解説

「JACICセッション」聴講者募集（無料）

―国際会議ICCBEI2013の中で開催―

JACICでは、11月に開催される国際会議「ICCBEI 2013」の中で行われる「JACICセッション」の聴講者を募集しています。その開催概要を説明させて頂きます。

1．国際会議ICCBEI2013とは

JACICnews4月号および6月号でも紹介しましたが、来る平成25年11月7日（木）～8日（金）、International Conference on Civil and Building Engineering Informatics（ICCBEI; 土木建築情報学国際会議）という国際会議が、お台場の東京国際交流館平成プラザで開催されます。

主催は、土木学会土木情報学委員会およびAGCEI（Asian Group of Civil Engineering Informatics；アジア土木情報学グループ）の共催です。

「土木学」と「情報学」の接点となる「土木情報学」という新しい学問領域を、アジアで先進的に取り組んでおられる研究者たちと協力して確立して行こうという趣旨で設立された国際会議です。

JACICセッションの予定会場

2．JACICの関わり

本会議の主催者の一翼を担うAGCEIにはJACICの理事長が、参加しています。このことからJACICは、資金面・論文参加・運営の人的協力の3つの形でサポートしています。その中でJACICは研究者ばかりでなく、一般の方も興味を持って参加頂ける「JACICセッション」を提案し、運営することになりました。

3．「JACICセッション」とは

国際会議ICCBEIの中で、JACICが担当・運営するセッションです。下記のとおり、会議初日の11月7日（木）午前中に、佐藤直良国土交通省顧問の基調講演に引き続き開催予定です。高村祐平国土交通省技術調査課建設システム管理企画室長をはじめCIMに関する内外の専門家に参加いただき、CIMの現状や国際動向を踏まえた今後の展開など、興味深い討議が期待できる内容となっています。国際会議の公用語は英語ですが、佐藤顧問の基調講演とJACICセッションには同時通訳がはいります。

日時：11月7日（木）9：30～12：30
場所：東京国際交流館　プラザ平成3F
1. 開会セレモニー
2. 基調講演　佐藤直良　国土交通省顧問
3. JACICセッション（パネルディスカッション）
テーマ「日本におけるCIMの動向と国際協調によるプロダクトモデルの構築」
座長：矢吹信喜　大阪大学大学院教授
パネリスト
高村裕平　国土交通省技術調査課建設システム管理企画室長
山下純一　IAI日本代表理事
坪香伸　JACIC　理事
クリストフ・カスタン　OpenInfra代表
謝尚賢　国立台湾大学　教授

4．聴講者募集

国際会議参加者とは別枠で、佐藤顧問の基調講演とJACICセッションの聴講者を募集しています。事前申込のみで、募集定員は200名です。

聴講は無料で、JACICホームページの下記URLから申込いただけます。

聴講者には、土木学会CPDが3.0ポイント認められています。奮ってご応募下さい。

http://www.jacic.or.jp/jseminar/201311.html

（国際プロジェクトチーム　河内康）

ニュースと解説

『平成25年度 電子入札コアシステム地方ブロック会議』開催報告

電子入札コアシステム開発コンソーシアム事務局は、地方ブロック会議（以下、「ブロック会議」という）を全国9ブロックで開催しました。

1. 会議の位置づけ、目的

ブロック会議は、毎年1月下旬に東京で開催されるコアシステムユーザ会議の地方版として位置づけられ、ブロック毎の多くのユーザの参加機会を確保し情報・意見交換等を行うことにより、円滑な電子入札システムの開発・運営に寄与することを目的として平成17年度から開催しています。

2. 各ブロック会議の日程と参加状況（138団体）

・北海道（札幌市）：平成25年7月17日（4団体）
・東北（仙台市）　：平成25年7月30日（10団体）
・関東（中央区）　：平成25年7月26日（20団体）
・北陸（金沢市）　：平成25年7月4日　（18団体）
・中部（名古屋市）：平成25年7月8日　（7団体）
・近畿（大阪市）　：平成25年7月9日　（44団体）
・中国（広島市）　：平成25年7月10日（7団体）
・四国（高松市）　：平成25年7月11日（10団体）
・九州（福岡市）　：平成25年7月12日（18団体）
※（前年度参加団体：118団体）

3. 主な議題

【暗号アルゴリズム移行モジュールのリリース】

電子入札システムでは、情報を通信する際に暗号化することで、通信中の情報が解読されないようにしています。暗号アルゴリズム移行は、パソコン等の飛躍的な性能向上により、現在利用している暗号の危殆化が懸念されるため、より複雑な暗号に移行する取り組みで、政府により政府機関の暗号アルゴリズムに係る移行指針の決定（情報セキュリティ対策推進会議8回会合（H24.10.26））がなされています。

JACICでは、コアシステムも暗号アルゴリズム移行が必要となるため、利用機関に暗号アルゴリズム移行モジュールを提供することとしていました。

本会議では、暗号アルゴリズム移行対応モジュールの準備が整い提供を開始したことと、暗号アルゴリズム移行に関する、質疑応答等を行いました。

【JRE7 update21に関する対応】

JRE（Java Runtime Environment）は、Java言語で開発されたソフトウェアを実行するためのソフトウェアであり、コアシステムの利用において必要です。

JRE7 update21からセキュリティ設定の考え方が変更になり、利用中の発注者クライアントにおいて対応が必要となりました。このため、利用団体へは、本事象への暫定対処を提示するとともに、今後の本格的対応の方向性について情報提供を行いました。

【Windows8の対応】

Windows8については、Windows8の標準文字セットとなるJIS2004や、これまでのWindowsと異なるWindows UIなど、様々な対応が必要となることが明らかになりました。これらの課題に対して十分な対応を行うためには、ある程度に時間が必要となる一方、Windows8.1の発売も決定し、Windows7等の入手がますます困難になっていくことが考えられるため、早期対応が必要との要望が多数寄せられました。

このため、利用に関するいくつかの制限を設けることにより、早期対応を実施することとしました。

【利用団体へのアンケート調査】

今年度のブロック会議を開催するにあたり、すべての参加団体を対象に電子入札の導入効果についてアンケート調査を実施し報告しました。

アンケート結果は、電子入札の導入効果が非常に大きいとの回答が多数あり、その効果の内容としては、事務手続きの軽減、データや書類等の管理の軽減、談合等の不正行為の防止などに大きな効果を感じていることがわかりました。

4. 終わりに

今後は、利用団体における暗号アルゴリズム移行作業が本格化するため、移行がスムーズ行われるように引き続きサポートを行っていきます。

また、お忙しい中での会議参加、およびアンケートへご協力いただいた方々には、お礼を申し上げるとともに、皆様からの意見等を活用し、より良いシステム、より良いサービスを目指して努めていく所存です。

（システムエンジニアリング部　参事　菊地修）

ニュースと解説

中国地方の災害現場でPhotog-CADが活躍

先月号に引き続き、中国地方の豪雨災害現場でのPhotog-CADの利用につき、ご報告いたします。

①山口県萩市内の被災現場で操作説明会

平成25年8月8日9日の両日、説明会を開催しました。島根県津和野町での事例報告を国土交通省中国地方整備局に行った際の、「現地で即活用に移せる手段はないか」との局の意向を受けて関係者と調整したところ、現場は次週からポール横断を含む測量作業に各社が着手するというスケジュールになっていることから、急遽開催することになったものです。

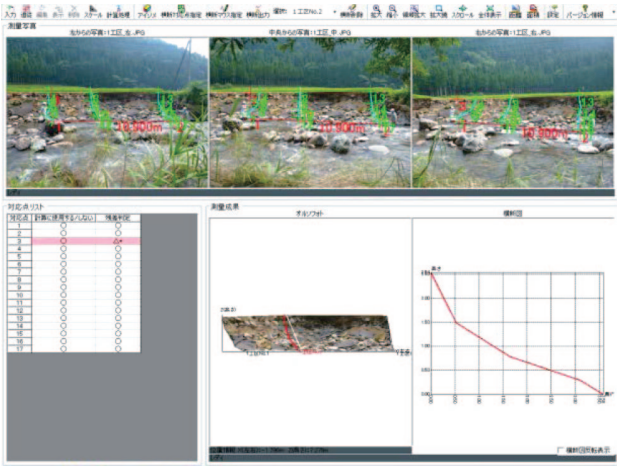
中国地方整備局企画部技術管理課、山口県砂防課、（一社）山口県測量設計業協会には急な提案にも関わらず快諾を頂き、特に整備局の工事品質調整官には現地説明に同行頂き、査定官の立場、発注者の立場からポール横断にかわるものとしての意義を解説していただきました。説明会には7社13名の参加をいただき、実際の現場で操作を体験していただきました。

萩市内の被災地での説明

この体験を通じて効率性、安全性への理解を深めていただいたことと期待しております。

②鳥取県の被災地のデータ処理を遠隔支援

平成25年8月7日、鳥取県鳥取県土整備事務所河川砂防課の担当者より、災害の応急復旧前の状況を測量しておくのにPhotog-CADを使ってみたいとのお話をいただきました。中国地方センター長より県の担当者に写真の撮り方を電話と電子メールで説明申し上げ、撮影していただいた写真を東京のJACIC本部にインターネットでお送り願い、これをJACIC職員が処理して結果をインターネット経由で送り返すという方法を採用しました。この手法はかねて議論していたところですが、実際の災害で試してみたのは初めてです。インターネットでのやり取りでしたので、即日処理して結果を返送させていただきました。



鳥取県の被災地の測定結果

初めての試みでしたが、写真のように被災直後の現場の状況を定量的に記録に残すことができました。手戻りがないよう、ざっと計算をやってみて、写真が正しく取れていることを確認してから次の現場へ移動するというアイデアはかねて温めていたものですので、実際の被災現場で、遠隔処理の実績を積むことができたのはありがたいことでした。

（中国地方センター　飛田敏行、
システムエンジニアリング部　海津優）

JACIC便り

JACICセミナー「建設情報分野における新しい動き2013」(福岡)開催報告

平成25年度第1回JACICセミナーは、平成25年9月6日（金）午後、福岡国際会議場4F中ホールにて以下のプログラムで開催されました。テーマは「建設情報分野における新しい動き2013」というもので、CIMをはじめ建設情報の最新の項目から題材を選びました。そのため九州地域の自治体を含め、測量会社・コンサルタント・建設会社等から135名の方にご参加いただきました。

セミナーのプログラム

開会挨拶　（坪香伸　JACIC理事）
1. CIMに関する国土交通省の取組について
（白土正美　国土交通省大臣官房技術調査課工事監視官）
2. 地方自治体電子納品のモデル
（三橋勝彦　JACIC研究開発部長）
3. 災害査定申請の支援ツールPhotog-CAD」
（海津優　JACICシステムエンジニアリング部長）
4. Photog-CADの利活用について
（石倉英明　島根県浜田県土整備事務所主任）
5. 施工パッケージ型積算の概要とJACICの導入支援
（宮本高行　JACIC積算システムセンター長）
閉会挨拶　（小出正則　JACIC審議役）
（司会進行：川嶋直樹　JACIC経営企画部長）

1. 国土交通省のCIM

国土交通省の白土工事監視官からは、CIMを取り巻く環境から平成24年度のモデル事業の結果や平成25年度のスケジュールなど、基本的な事項を話して頂きました。

2. 地方自治体の電子納品のモデル

JACICの三橋部長からは、JACICが事務局を担当している「社会基盤情報標準化委員会」の2012年度成果から、地方自治体電子納品のモデルについての解説がありました。国土交通省の電子納品要領の他にもお勧めのレベルを提案するというものです。これは以下のサイトに詳細記事があります。

http://www.jacic.or.jp/hyojun/

3. Photog-CADについて

Photog-CADとは、JACICが開発した災害査定申請用のソフトで、デジタルカメラを利用すれば誰でも簡単に土量等の数量が出せるものです。この基本的な機能についてまずJACICの海津部長から解説がありました。これを受けて島根県の石倉主任の方からは、実際にこの夏の集中豪雨災害の現場において、このPhotog-CADを使用した経験から、使用にあたって工夫した点などを具体的に紹介して頂きました。

4. 施工パッケージ型積算

最後にJACICの宮本センター長からは、施工パッケージ型積算方式に関する基本的な解説とJACICの地方公共団体への導入支援についての解説がありました。

満席のセミナー会場の様子

5. 今後のJACICセミナー

今回の講演内容については、以下のJACICホームページでも関係資料を公開していますので、是非ご参照ください。

http://www.jacic.or.jp/movie/jseminar/

JACICセミナーは、来年度以降も地方開催を含め、時宜を得たテーマで計画していきたいと考えております。

（経営企画部　次長　河内康）

JACIC便り

平成25年度RCCM資格試験受験準備講習会終了

シビルコンサルティングマネージャー（RCCM）の資格制度が、平成3年度に創設され、今年度で23年目となりました。JACICは昨年に引き続き、国土交通省の後援を受け、「平成25年度RCCM資格試験受験準備講習会」を7月中～8月上旬に全国11会場で開催しました。

本年度は「テキスト」の構成を一部見直し最新の内容に改訂するとともに、「想定問題・解答」の専門技術知識に昨年度の問題傾向を取り入れ、巻末には平成22～24年度の3ヵ年度の問題を掲載しました。また、講習会当日には、問題Ⅲ解答論文構成例や問題Ⅱ、Ⅳの4肢択一問題の年度別出題数を配布するなど、講習内容の充実を図ってきました。

右表・グラフに示すように本年度の申込者数は2,214名、出席者2,087名（出席率94.3％）となっており、申込者数では昨年比で125名減となっています。また、平成17年から今年度までの申込者数をみると、ほぼ2,500名前後で推移していますが、平成23年度はRCCM資格制度の改定により受験する際に必要とする業務の経験年数が短縮されたこと等により2,700名を超える申込みがありました。

JACICでは、今後も、建設コンサルタント技術者の技術力向上とRCCMの普及を目指し、講習内容の充実に努めていきたいと考えております。

福岡会場の様子

なお、平成25年度版RCCM資格試験受験準備講習会テキスト等の残部について有償配付しております。

希望される方はJACICホームページ（http://www.jacic.or.jp/topics/2013080601/rccmhanbai.html）からお申し込み下さい。

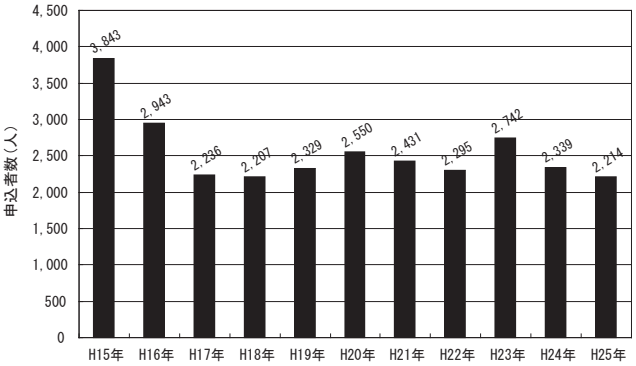
RCCM資格試験は、（一社）建設コンサルタンツ協会が平成25年11月10日（日）に実施します。

試験に関する内容は、同協会のホームページ（http://www.jcca.or.jp/qualification/rccm/index.html）を参照してください。

平成25年度　申込者数と出席者数

開催地	開催日	申込者数	出席者数
札　幌	7/26(金)	180	174
仙　台	7/23(火)	236	218
東京1	7/22(月)	334	324
東京2	8/05(月)	311	284
新　潟	7/24(水)	74	73
名古屋	7/31(水)	224	212
大　阪	7/25(木)	239	222
広　島	7/31(水)	109	104
高　松	8/01(木)	99	99
福　岡	7/30(火)	339	313
沖　縄	7/25(木)	69	64
合　計		2,214	2,087

申込者数の推移（平成15年度～平成25年度）



（経営企画部　参事　福島　康博）

地方便り

四国地方センター活動報告

四国地方センターでは、四国4県を担当地域として、コリンズ・テクリス、電子入札・電子納品を主としたCALS/EC、Photog-CAD等の普及促進活動を行っています。今年のこれまでの活動状況を紹介します。

■コリンズ・テクリス

平成25年8月末現在の導入状況は、全95市町村の内コリンズで71％、その内訳は市100％、町村で51％、テクリスでは44％、市66％、町村で30％となっています。現在、未導入市町村及びアクセス利用の少ない市町村を主体に訪問による普及促進活動を継続的に展開しています。

■電子入札コアシステム

四国地域では国の機関や4県と14市町村で運用していますが、市町村の普及率は15％程度と低い状況にあります。

一方、7月10日には「平成25年度四国地方ブロックコアユーザ会議」を高松市内で開催しました。

四国4県、徳島市、三好市、高松市、松山市、今治市、四国地方整備局の電子入札担当者が参加し、各機関から現在の運用状況や課題、要望事項などの発表を踏まえ、電子入札コアシステムの機能向上や今後の運用について意見交換いただきました。

■RCCM資格試験受験準備講習会

平成25年度「RCCM資格試験受験準備講習会」について、高松会場では8月1日に香川県土木建設会館で開催し、99名の方が受講されました。

講習会では建設コンサルタント業務の最近の課題、施策等について、講習会テキスト等に基づいての解説のほか受験準備の説明を行いました。11月10日の試験日まで後1箇月余りとなりましたが、合格を目指してがんばりましょう。

RCCM講習会の状況

■Photog-CAD

□災害査定技術研修

四国地方整備局の実施する災害査定研修の中で、6月6日に四国技術事務所研修所において、Photog-CADの講義を行いました。この取組みは地方公共団体のPhotog-CADによる災害申請等を想定し、職員の査定技術のスキルアップを図るものとして、当センターとしても積極的に支援しています。

□第18回水シンポジウム2013inこうち

水と人との関係について考える「水シンポジウム2013inこうち」が8月22日に高知市で開催されました。土木関係者や市民ら約600人が参加する中、当センターとしても共催し、Photog-CADのパネル、ポスターを展示し多くの方々にモニターキャンペーンの広報活動を展開し、その場でソフトの無料配布も行いました。

■四国地方センターの移転

10月1日から下記場所に移転しました。

高松市福岡町3丁目11番12号　建設クリエイトビル5階

TEL087-822-4315、FAX087-822-4316（変更なし）

（四国地方センター長　横山嘉夫）

JACIC便り

JACIC建設情報研究所研究発表会・研究助成事業成果報告会の開催案内

JACICは平成25年11月14日（木）に、乃木会館において、「第15回建設情報研究所研究発表会」および「第10回研究助成事業報告会」を同時開催します。現在下記ホームページにて、参加者を募集しておりますので、ご案内します。時間割は右のようになります。

http://www.jacic.or.jp/seminar/kennkyuukai2013.html

研究発表会は、JACICで行っている研究活動の最前線をレポートするもので、今年度は以下の6テーマになります。

・CIM
・施工パッケージ型積算
・コリンズ・テクリスのデータから
・国際PTの活動
・社会基盤情報標準化委員会の活動
・Photog-CADの普及

研究助成事業報告会は、JACICが助成している研究で平成25年8月に終了したものの中から、研究者自らが報告するものです。今年度は8件が予定されています。参加無料定員150名です。

その後の意見交換会については有料ですが、今年から誰でも参加できる形式になります。左記のホームページから申し込んで下さい。

場所：乃木会館4F豊明
日程：平成25年11月14日（木）
時間割
　研究発表会　10：00～12：30
　助成事業報告会　13：30～17：20
　意見交換会　17：40～

（経営企画部　次長　河内康）

e-BISCコーナー

国土交通省電子入札

ヘルプデスクへの質問と回答

ヘルプデスクへ寄せられた応札者からの問い合せの主なものについて、紹介します。その他の項目についても、ホームページ（http://www.e-bisc.go.jp/）のFAQ（よくある質問）に掲載しています。

項　目	質　　問	回　　答
システム共通	Windows 7 SP1の端末からInternet Explorer 10を削除する際に注意することはありますか。	Windows 7 SP1の端末でInternet Explorer 10を削除すると端末環境によっては以下の事象が発生し、電子入札システムが正常に動作しない場合があるとの情報が利用者から寄せられています。 ・電子入札システムの時刻表示画面に時刻が表示されない ・提出済み申請書等の添付資料の表示・保存が行えない ・説明要求の回答添付資料の表示・保存が行えない ・入札説明書等ダウンロードシステムの画面が表示されない ・入札説明書等ダウンロードシステムでの文書の表示・保存が行えない このような事象を解決する方法として、マイクロソフト社から提供されている情報が有効であることを確認しています。当該事象が発生した場合は下記ページをご覧ください。 「Internet Explorer 10 をアンインストールすると Internet Explorer 8 や 9 でダウンロードができない」 （参照先URL　http://support.microsoft.com/kb/2864931/ja） また、e-BISCセンターホームページでは、電子入札端末環境に関する重要なお知らせとして下記を掲載しています。あわせてご確認ください。 「【再更新】電子入札システム利用者環境を再度ご確認ください」 （参照先URL　http://www.e-bisc.go.jp/read/00000156.html）

（e-BISCセンター　参事　堀喜一）

■編集・発行　一般財団法人日本建設情報総合センター
〒107-8416　東京都港区赤坂7丁目10番20号アカサカセブンスアヴェニュービル
TEL.（03）3505-2981〈代表〉　FAX.（03）3505-2966
ご意見・お問い合わせ先：http://www.jacic.or.jp/inquiry/index.html
JACICホームページ http://www.jacic.or.jp/
ISO9001 MSA MSA-QS-2368　MS JAB CM024
編集・構成　日本印刷（株）
電話　03-3833-6971